

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.31</b>					<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15					<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35					<b>2.6</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25					<b>2.7</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.30					
1 昼光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度	照度は500LX以上1000LX未満(事務所)	4.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25					<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆の材料を採用	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		3.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40					<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30					
1 広さ感・景観	天井高さを2700にて計画。	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	執務スペースの19.5%のリフレッシュスペースを確保し、自動販売機等を設置の計画としている。	5.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30					<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、汚水排水VP(B)、消火SGP(C)、Eは不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	-	-
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		
	3	電気設備		3.0	0.20		
	4	機械・配管支持方法	配管支持は耐震クラスAとしている。	3.0	0.20		
	5	通信・情報設備		4.0	0.20		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	3.6
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高を4.0m以上で計画	5.0	0.30	-	-
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.07	5.0	0.60		
3.2	3.2	荷重のゆとり		3.0	0.40	-	-
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.0	0.30	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.39	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.740	5.0	0.01	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.12	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.62	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI=0.470、LED照明設備を採用。	5.0	1.00	-	-
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.25	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング			各用途別に電力量を計量し、消費特性の把握・分析を行うことで妥当性確認が可能	4.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制				2.0	0.50	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-
4.1 モニタリング				-	-	-	-
4.2 運用管理体制				-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	3.1
1 水資源保護				3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ビニル床材	3.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上げ材のディティールを採用。	4.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-
1 消火剤				-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=61%	4.5	0.33	-	4.5
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	3.5
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用しない。	5.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			見付面積比57.1%、隣棟間隔指標Rw2.74としている	3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			駐車場、駐輪場、荷捌き用車両の駐車施設、待機場の確保。	4.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明を行っていない。	3.0	0.70	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-